

式 辞

新型コロナウイルスの新

たな変異株「オミクロン株」

が猛威を振るい、全国での累

計感染者数は、優に500万

人を突破。県内での新規感染者も連日300

人を数えています。いわゆる「第6波」の勢

いに歯止めがかからず、収束の見通しの立ち

にくい厳しい状況の中、進路選択・進路決定

という大きな試練を乗り越えてこられた皆さ

んの背中を、柔らかな春の風が、そつと後押

ししているかのようです。新たな世界へと、

今、正に歩み出して行かれる 卒業生52名

の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本来なら、多数のご来賓と保護者、在校生

が一堂に会し、盛大にお祝いしたいところで

す。しかし、感染症拡大防止のため、やむな

くPTA会長 北島功一様のみ、ご臨席いた

だき、保護者の方と教職員の参加によって、



福井市川西中学校 第七十一回卒業証書授与式を、挙行にこぎ着けられましたこと、学校を代表しまして心より感謝いたします。

さて、今ほど、卒業生一人一人に卒業証書をお渡ししました。皆さんが手にしたものは小学校6か年の上に中学校3か年、計9か年の、たゆまぬ努力の積み重ねによって義務教育が修了したという証です。汗と涙の結晶です。

川西中学校での3年間の鍛錬、とりわけ最髙学年としてのこの1年間の取組、つまり、コロナ禍2年目を迎え、突然の学校閉鎖などの環境の中、歯を食いしばりながら試行錯誤を繰り返している姿は、実にたくましいものでした。仲間と共に次々とアイデアを出し合い、自分たちにできることを速やかに実行に移してきました。困難は決してマイナスばかりではなく、むしろ、自分自身を変化させ、成長させるチャンスであることを、身をもって学んだことでしょう。

「3年生を見習え。」これは入学式で述べた言葉です。

皆さんの日々の取り組みは、後輩たちの手本となり、川西中学校に新たな生活様式を定着させると共に、伝統を大いに高めることになりました。「挨拶・無言清掃・ICT授業・生徒会活動・部活動・ボランティアなど」。とりわけ「挨拶」が素晴らしく、地域の方からは、「中学生から、毎朝、元気をもらっている・大人の挨拶も良くなってきた・地域の活性化につながっている」などの評価をいただきました。それが全校生徒に広がり、「川中と言えば挨拶」との伝統が定着しました。

伝統とは、単に眠っている施設・設備を指すのではなく、そこに生活する最高学年の懸命に生きる姿、そのものです。これこそが伝統です。「皆さん、本当に良くやりました。」

また、中学校で身につけた力、多少のことではぐらつかない強靱な足腰は、変化の激しい時代を生き抜くための確かな礎となります。

す。無論、「早寝・早起き・朝ご飯」による十分な食事と睡眠という各家庭における基本的な生活習慣を土台とした日々の勤勉な生活、地道な努力を支えてくださったのは、周りの人たち。今日の上き日に、今までなかなか言葉にすることのできなかつた「ありがとう。」という感謝の気持ちをも、仲間に、先生に、そして、何よりも一番身近な家族に、明確に伝えてください。

ここで、皆さんの門出にあたり、2つのことを確認したいと思います。

一つ目は「文武両道を目指す。」ということ。学生の本分である「学業」と「部活動や趣味・特技を伸ばす」ことに、青春の溢れんばかりのエネルギーを費やして欲しい。今日という日を精一杯生きて欲しい。そして、自分の中に秘められた可能性を、さらに広げることによって、人生100年時代の二十世紀という未知の世界に向かって、確かな足取りで一步一步、着実に歩んでいってください。

二つ目は「環境にしなやかなに対応する。」
ということですが。先行き不透明で変化の激しい時代と頭で分かっても、学校祭直前まで学校閉鎖、高校入試3週間前倒し実施、卒業式で式歌は歌えないなどは、思ってもみなかったことでしょう。しかし、置かれた状況の中で、最もよい選択は何かを自分で考え、速やかに判断し、勇気をもって果敢に行動する。目の前の変化に真正面から挑んでいく。

自然科学者ダーウィンはその著書『種の起源』中で生物進化論を唱えました。それは「力の強い者が生き残るのではない。賢い者が生き残るのである。唯一、生き残ることができるのは、環境の変化に柔軟に対応し、自ら変化・成長できるものである」と。まさに、今の皆さんの姿そのものです。

最後になりますが、保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございます。この三年間、私たち教職員一同、力を合わせ、本校の

教育目標の達成に向かってひたすら邁進してまいりました。よかれと思っただことは全てやり切ったつもりです。しかし、未曾有のコロナ禍にあつて、至らぬ点多かったことと思います。この場を借りて、改めて保護者の皆様、本当に温かいご理解とご支援に心から感謝を申し上げるとともに、引き続き、川西中学校への熱い応援を、是非、お願いいたします。

さあ卒業生の皆さん、「緑の丘」の学び舎で、共に励んだこと、「赤き薨」の学び舎で、共に尽くしたことを確かな自信として、しっかりと「愛校心」を胸に抱き、新たな世界に向かつて、力強く羽ばたいてください。皆さんの前途に幸多かれと祈念し、式辞いたします。



令和四年三月十一日

福井市川西中学校長

齊藤浩之